

第2部 種別ごとに見る事故

ここでは、日常生活における事故を「ころぶ」「落ちる」「ぶつかる」「ものがつまる・ものが入る・誤って飲み込む（ものがつまる等）」「切る・刺さる」「はさむ・はさまれる」「やけど」「かまれる・刺される」「おぼれる」の種別ごとに取り上げています。最も多いのは「ころぶ」事故で、全体（※その他、不明を除く）の7割以上となっています（図2-1）。

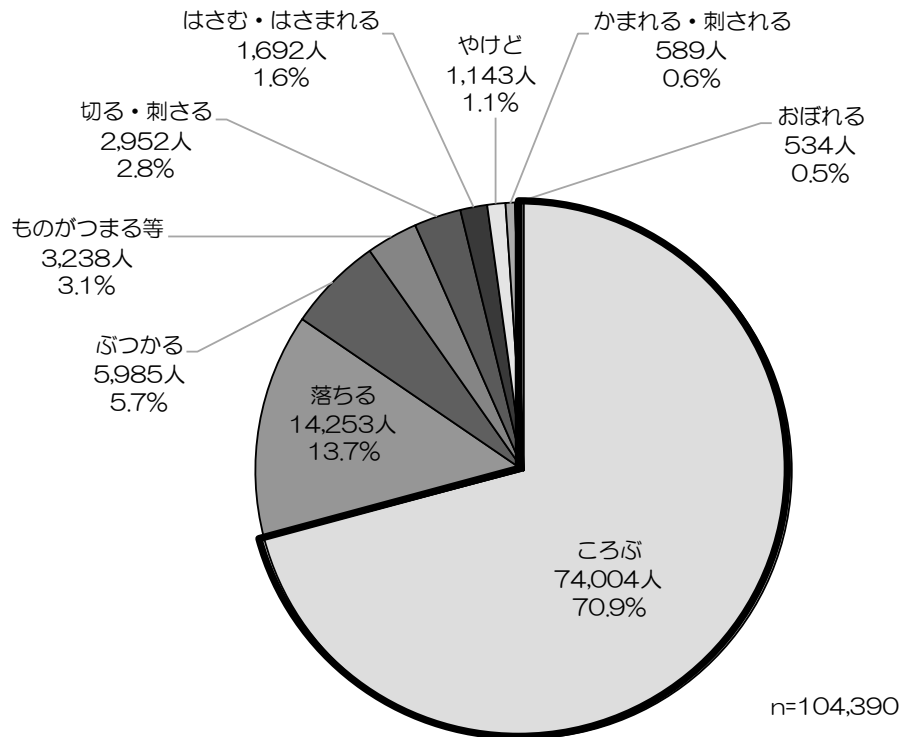


図2-1 事故の種類別構成割合（その他、不明を除く）

種別ごとに見ると、事故は年代によって特徴があります。乳幼児は他の年代に比べ、ものが詰まったり、ものを誤って飲み込む事故の割合が多く、また、やけどの割合も多くなっています。10代ではぶつかる事故の割合が多くなっています。また、高齢になるにつれて「ころび」事故の割合が増えています（図2-2、図2-3）。

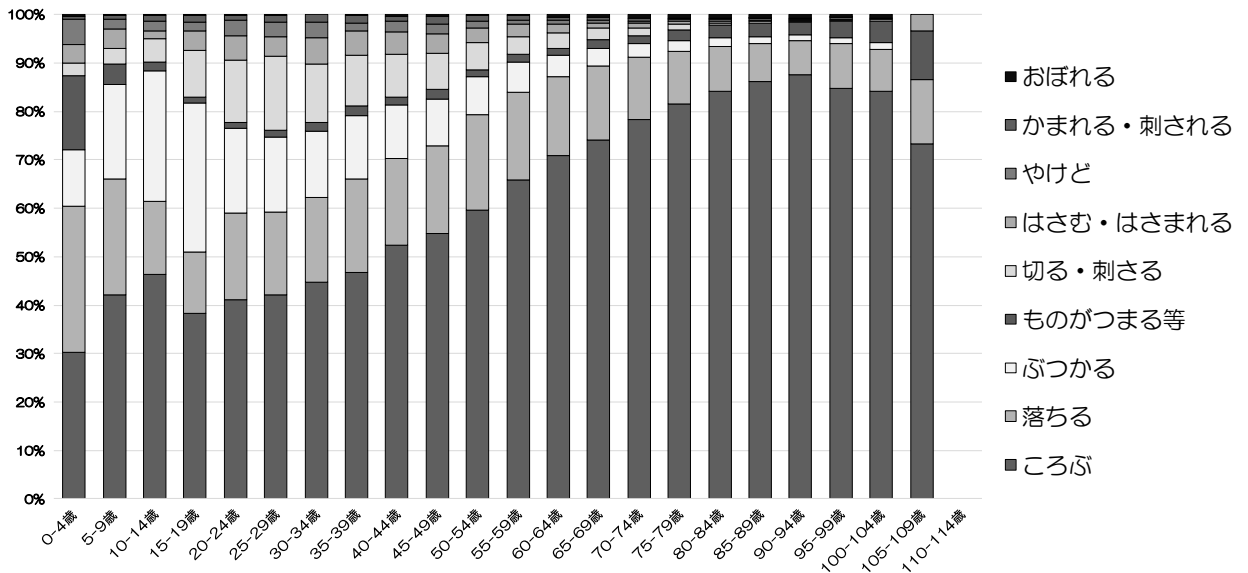


図2-2 年齢別の事故の種類別構成割合（その他、不明を除く）

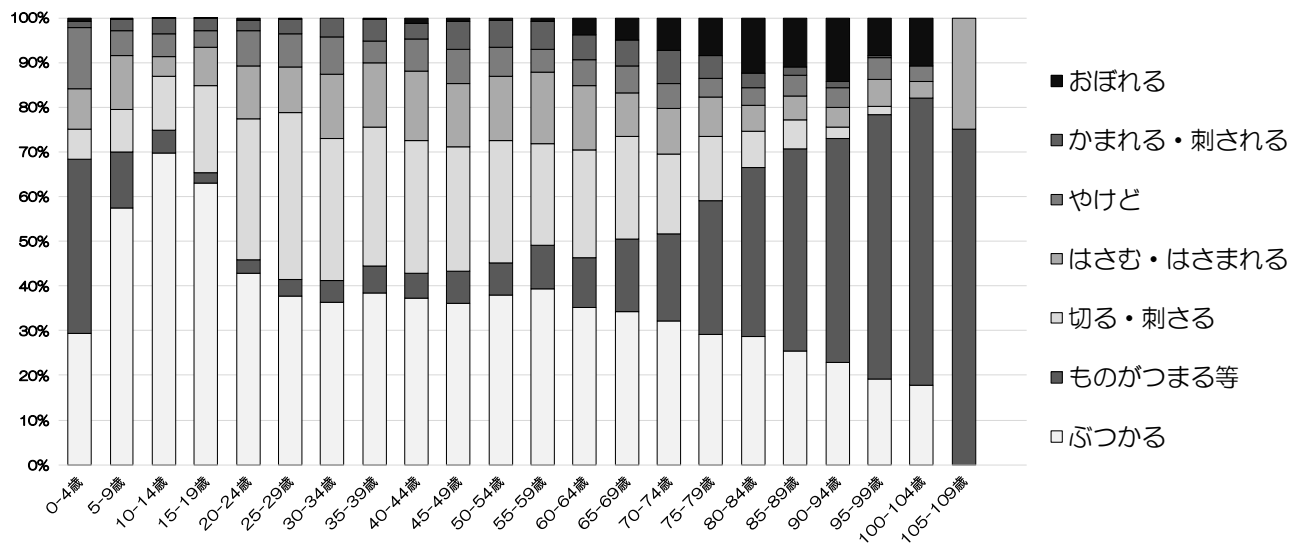


図2-3 年齢別の事故の種類別構成割合（ころび、落ちる、その他、不明を除く）

1. ころぶ

(1) 年別搬送人員

「ころぶ」事故は日常生活における事故の中で最も多く、令和2年中は74,004人が救急搬送されています（図2-4）。

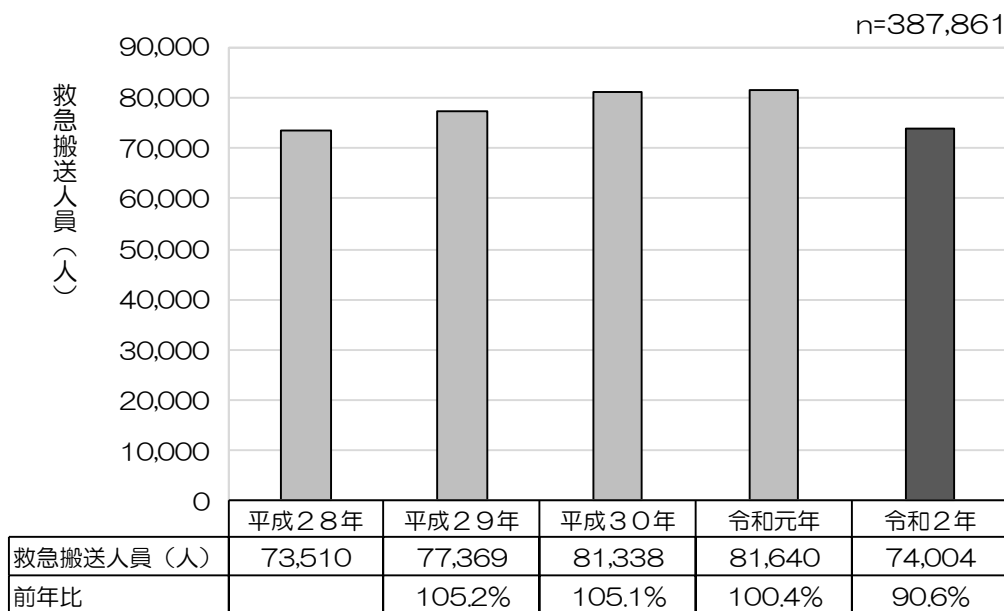


図2-4 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、65歳以上の高齢者が多く救急搬送されています（図2-5）。

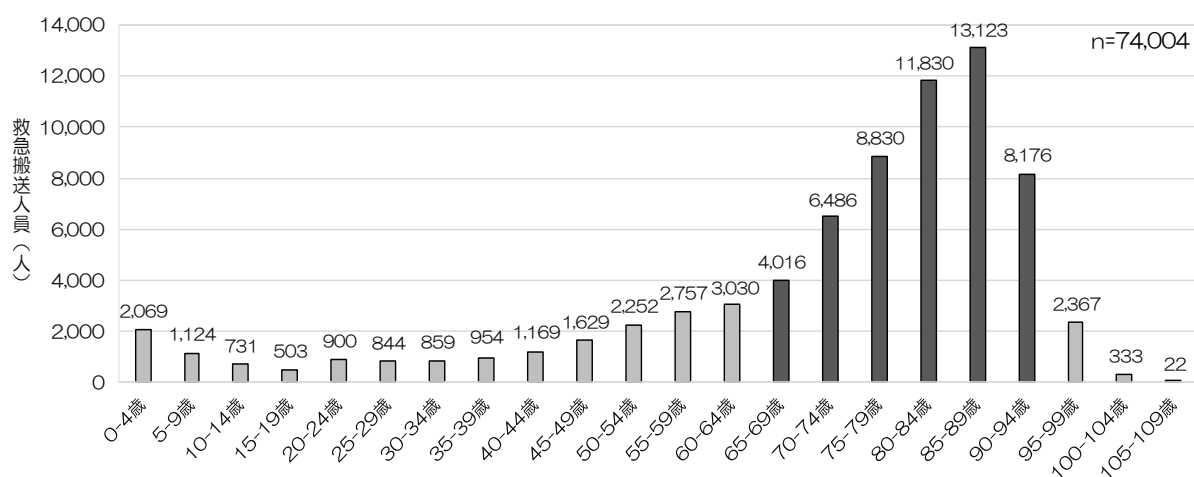


図2-5 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が最も多く、次いで道路・交通施設となっています（図2-6）。

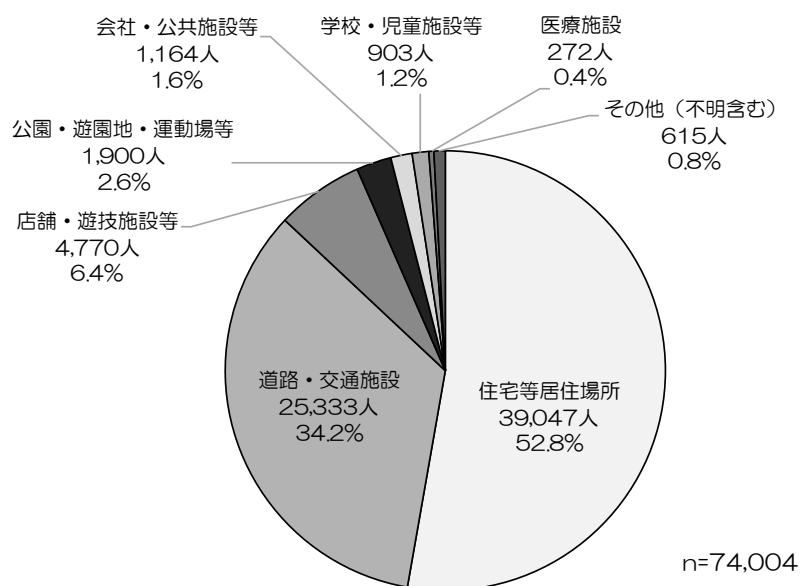


図2-6 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、3割以上が中等症以上と診断されています（図2-7）。

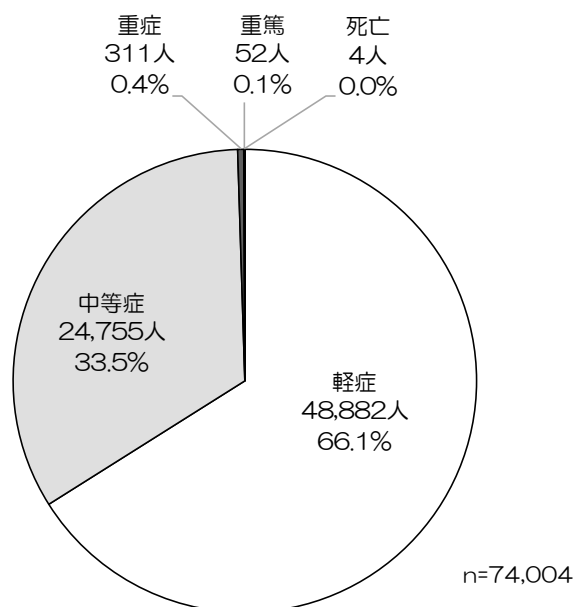


図2-7 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 ころぶ】

浴室の床で足を滑らせて転倒し、立ち上がることができなくなった（90代 中等症）。

2. 落ちる

(1) 年別搬送人員

階段や脚立などから「落ちる」事故で、令和2年中に14,253人が救急搬送されています（図2-8）。

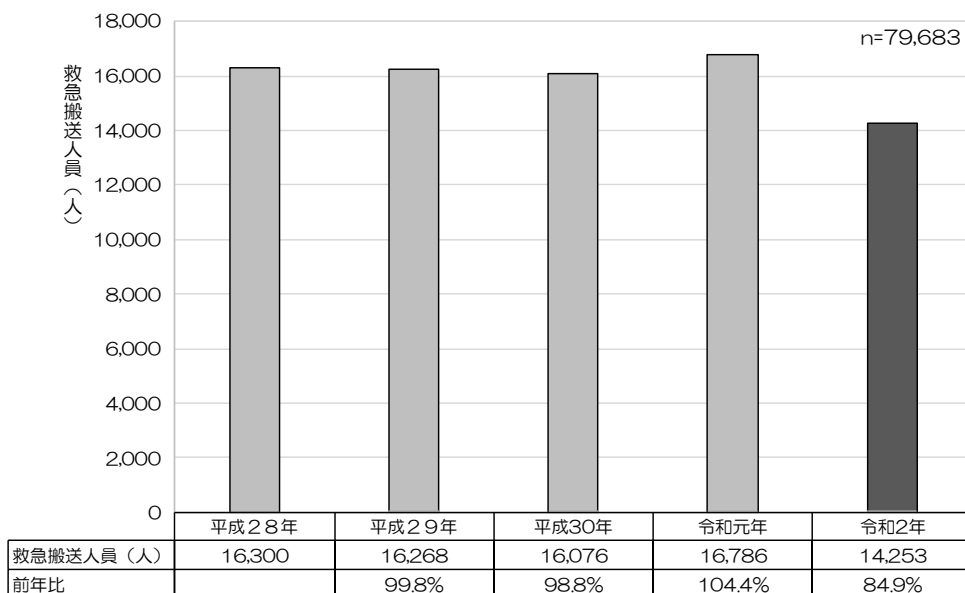


図2-8 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳までが最も多く、2,067人が救急搬送されています（図2-9）。

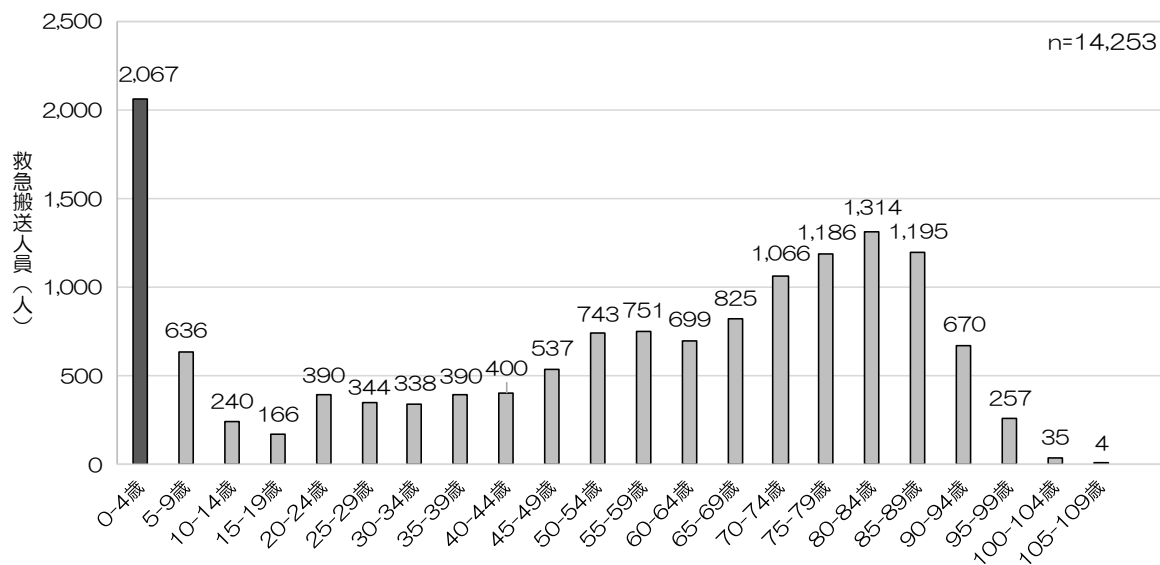


図2-9 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が最も多く半数以上となっています。次いで、道路・交通施設、店舗・遊技施設等で多く発生しています（図2-10）。

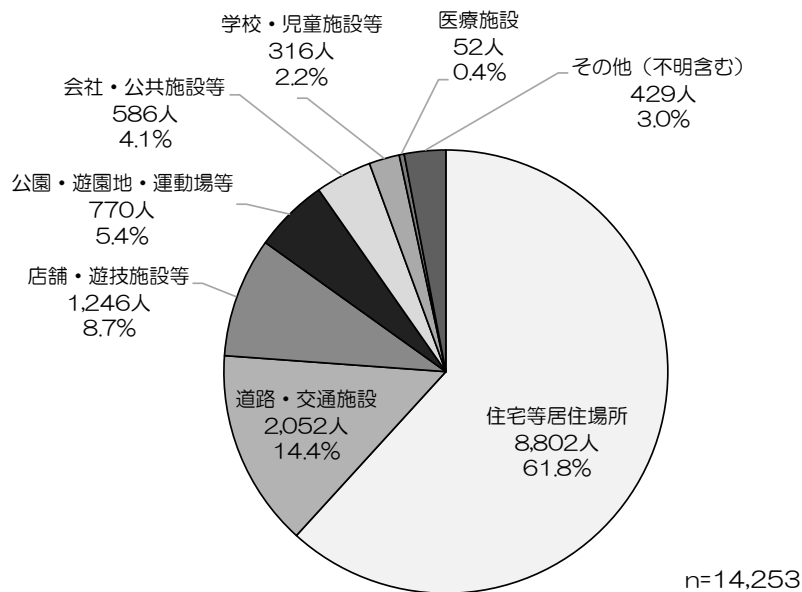


図2-10 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、3割以上が中等症以上と診断されています（図2-11）。

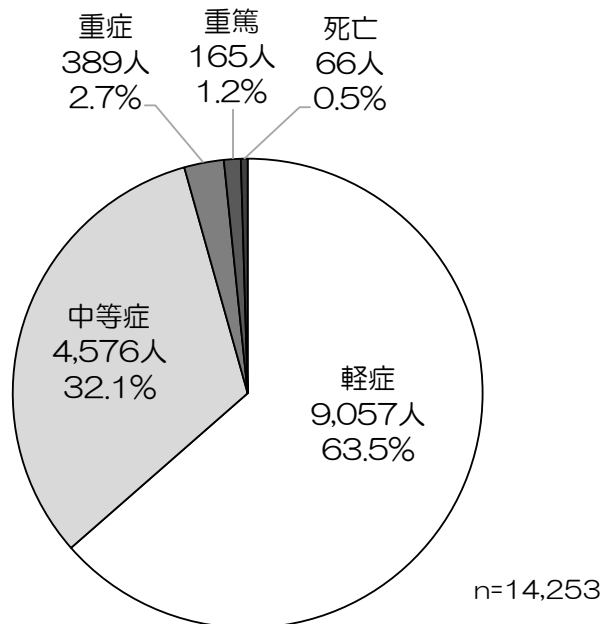


図2-11 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 落ちる】

2段ベッドの上の段に親と一緒に寝ていたところ、ベッド脇の柵を乗り越えて床に転落した（3歳 中等症）。

3. ぶつかる

(1) 年別搬送人員

飛んできたボールに「ぶつかる」事故や、走っていて人やものに「ぶつかる」事故で、令和2年中に5,985人が救急搬送されています（図2-12）。

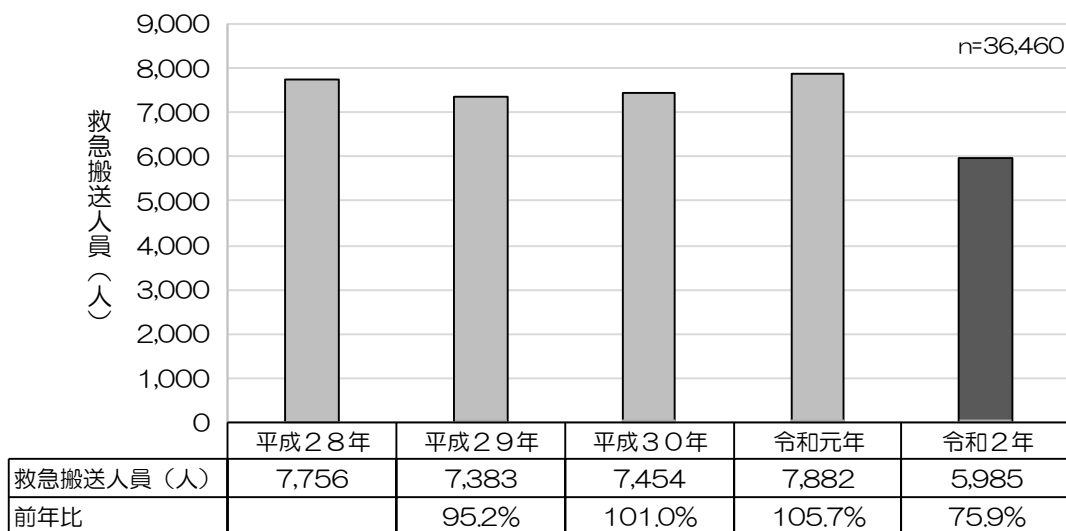


図2-12 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層別（5歳単位）では、最も多いのは0歳から4歳までとなっており、加齢とともに減少しています（図2-13）。

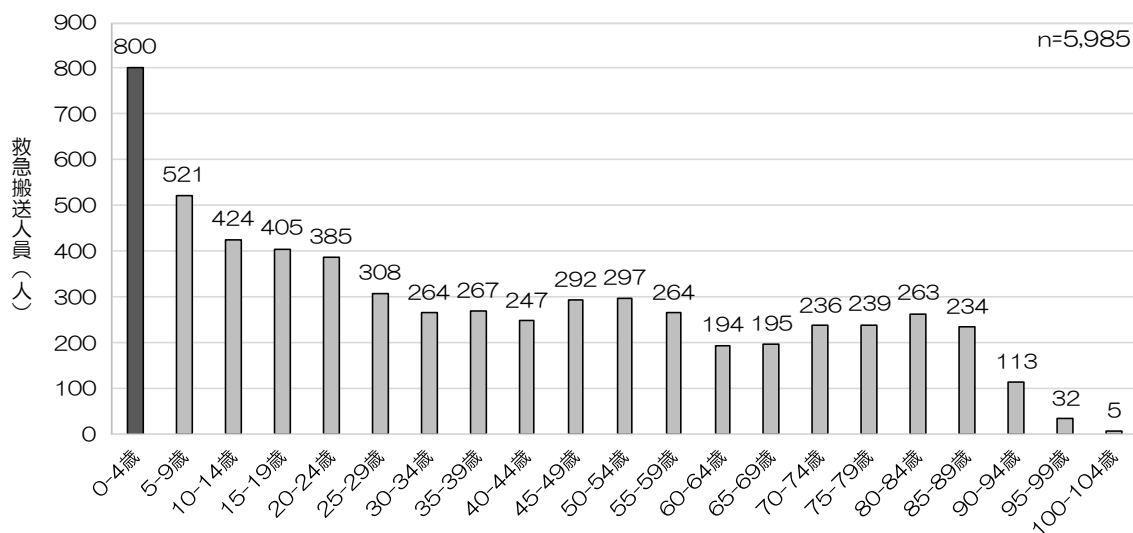


図2-13 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が最も多く、次いで道路・交通施設や公園・遊園地・運動場等での事故が多く発生しています（図 2-14）。

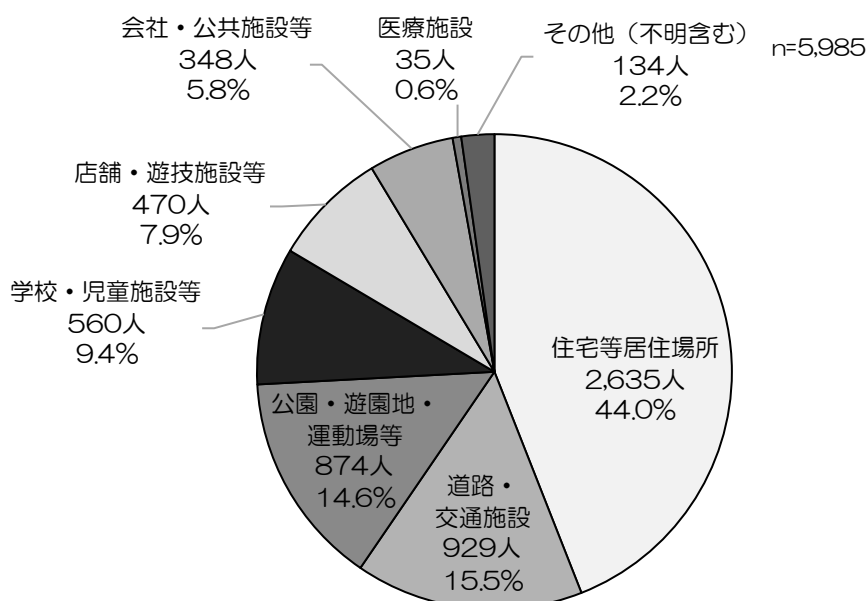


図 2-14 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、全体の8割以上が軽症ですが、重症や重篤、死亡と診断される事故も発生しています（図 2-15）。

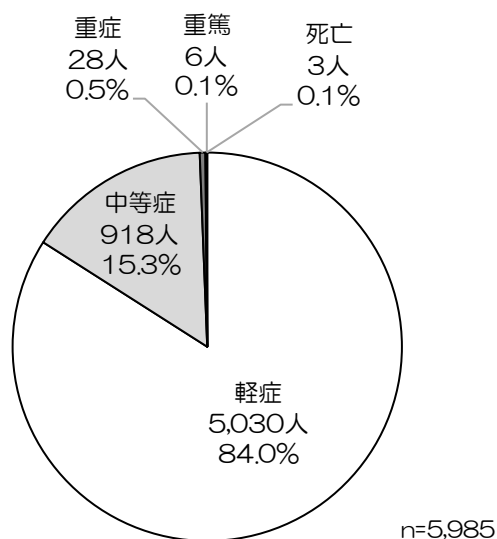


図 2-15 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 ぶつかる】

体育の授業中に、ソフトボールが顔面に当たり鼻を受傷した（10代 中等症）。

4. ものがつまる・ものが入る・誤って飲み込む

(1) 年別搬送人員

食べ物を喉につまらせたり、たばこや玩具などを飲み込んでしまう事故により、令和2年中は3,238人が救急搬送されています（図2-16）。

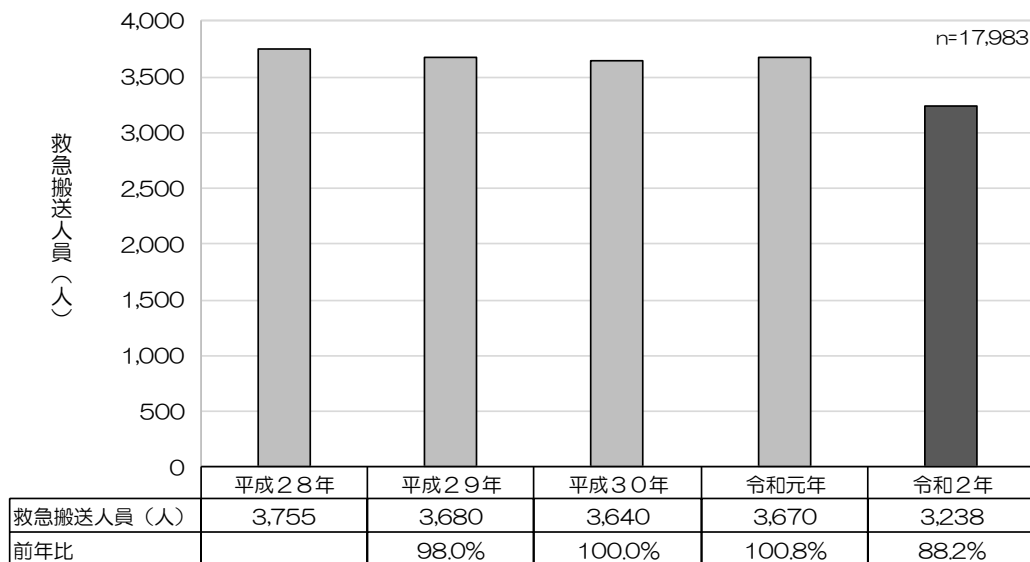


図2-16 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳までが最も多く、1,058人が救急搬送されています（図2-17）。

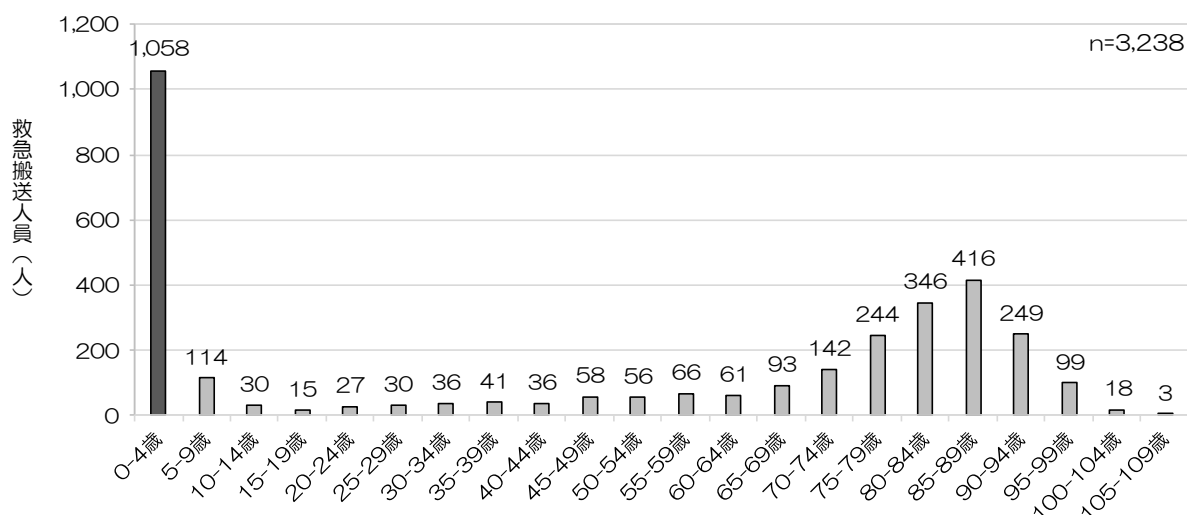


図2-17 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が9割以上と最も多く、次いで、店舗・遊技施設等が多くなっています（図2-18）。

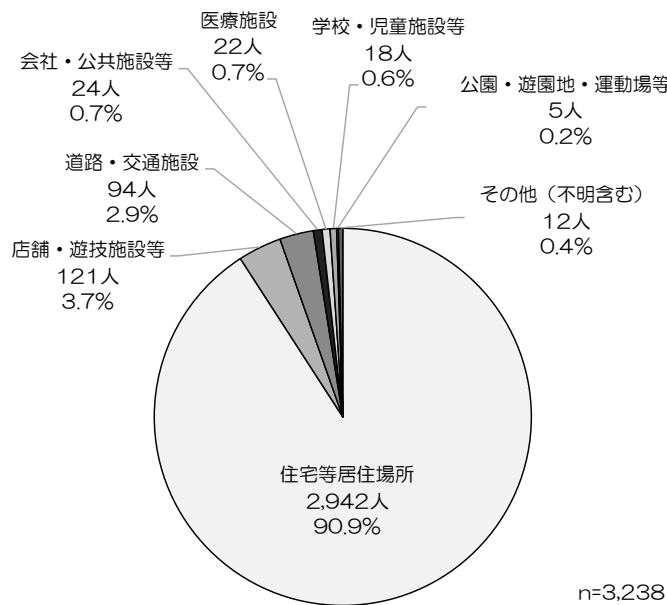


図2-18 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、3割以上が中等症以上と診断されています（図2-19）。

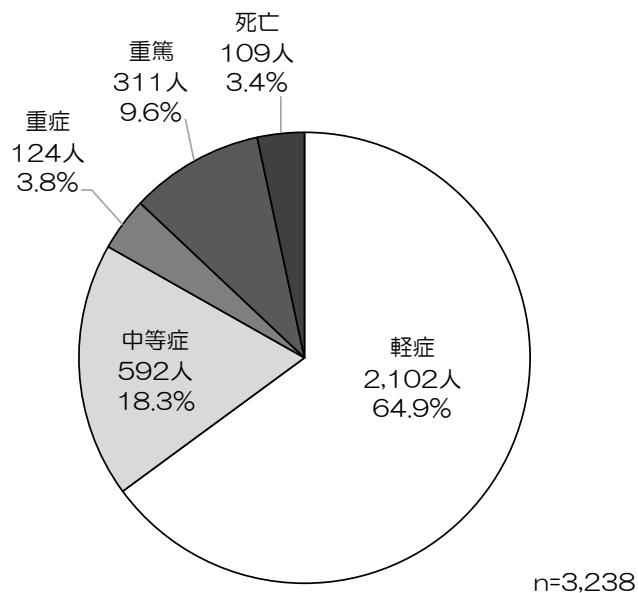


図2-19 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 ものがつまる】

食事中に、餅を喉に詰まらせて倒れ、意識を失った（80代 重篤）。

5. 切る・刺さる

(1) 年別搬送人員

刃物で切ったり、何かが刺さったりする事故で、令和2年中に2,952人が救急搬送されています（図2-20）。

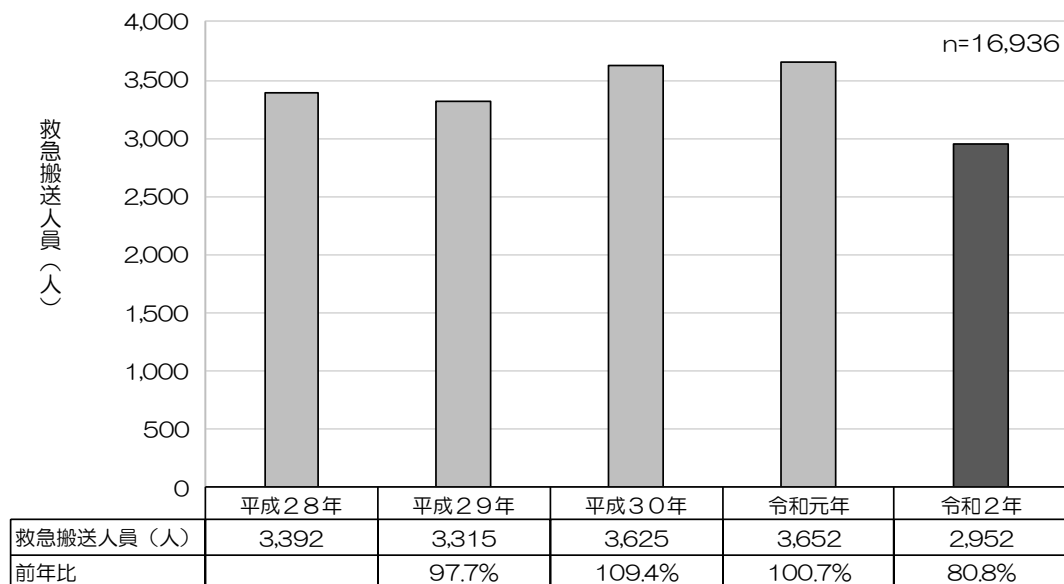


図2-20 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、20歳代での救急搬送人員が多くなっています（図2-21）。

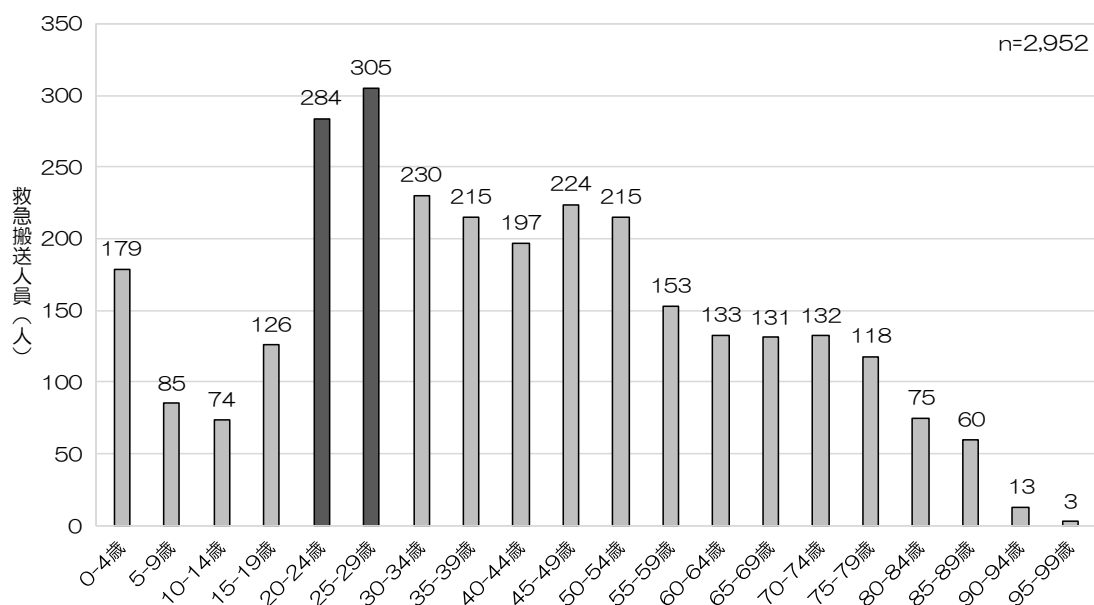


図2-21 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が最も多く約7割を占めており、次いで店舗・遊技施設等、会社・公共施設等が多くなっています（図2-22）。

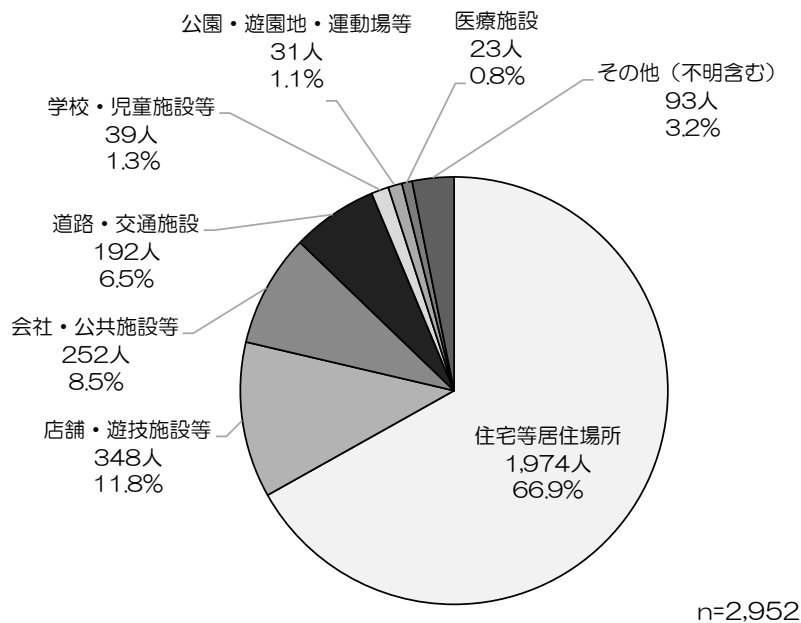


図2-22 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、全体の1割以上が中等症以上と診断されています（図2-23）。

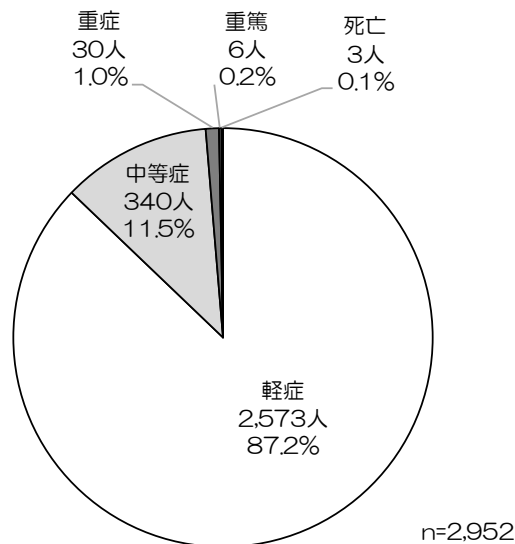


図2-23 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 切る】

建物の内装工事中に、電動のこぎりで誤って指を切創した（50代 中等症）。

6. はさむ・はさまれる

(1) 年別搬送人員

ドアや機械、鉄道車両の戸袋などにはさまれたり巻き込まれたりする事故で、令和2年中に1,692人が救急搬送されています（図2-24）。

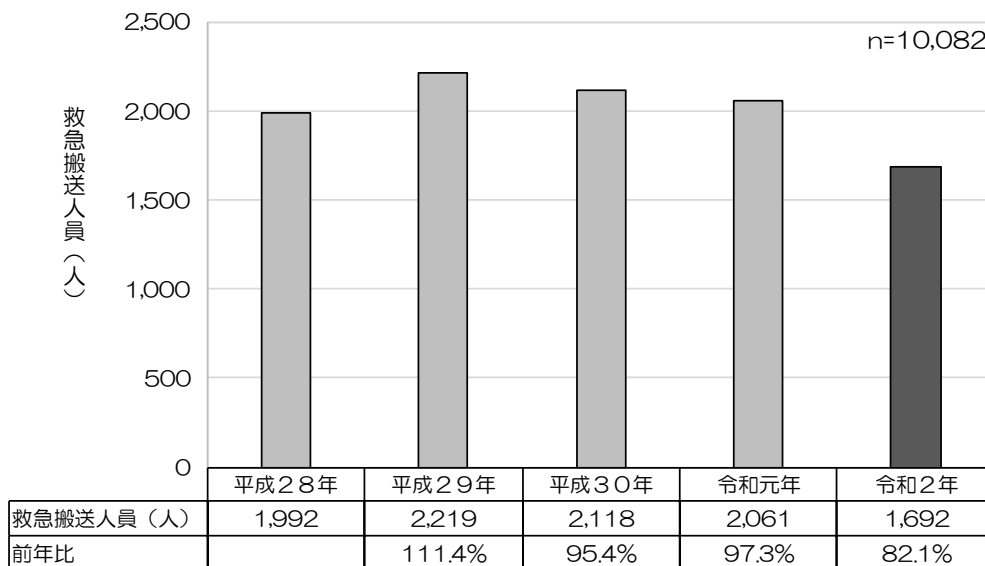


図2-24 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳までが最も多く251人が救急搬送されています（図2-25）。

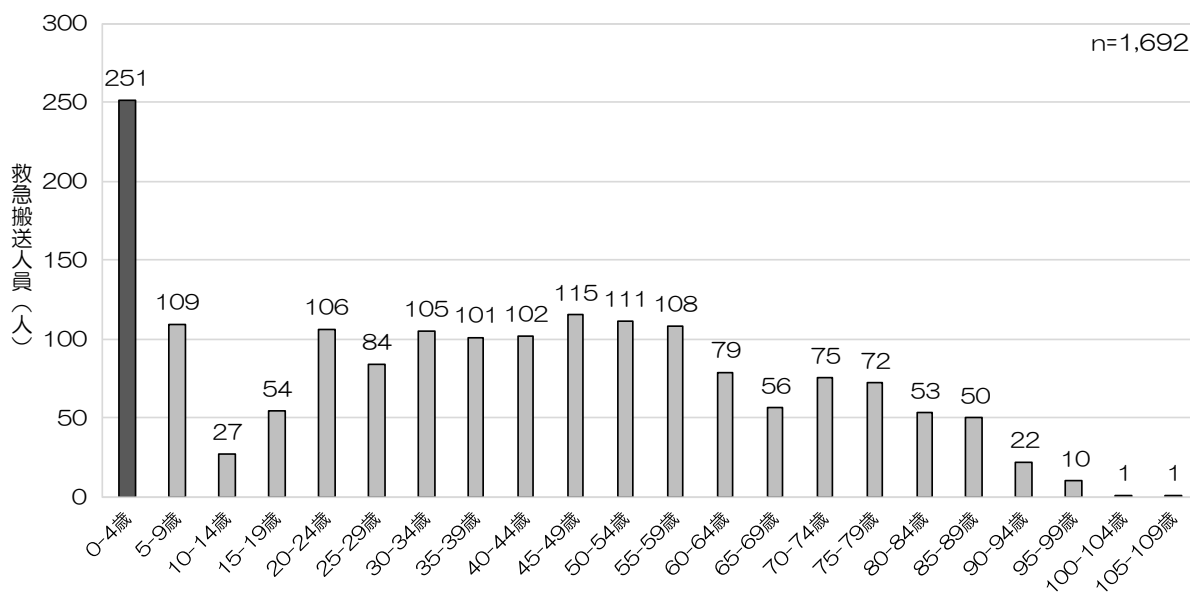


図2-25 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が約4割と最も多く、次いで会社・公共施設等や道路・交通施設でも多く発生しています（図2-26）。

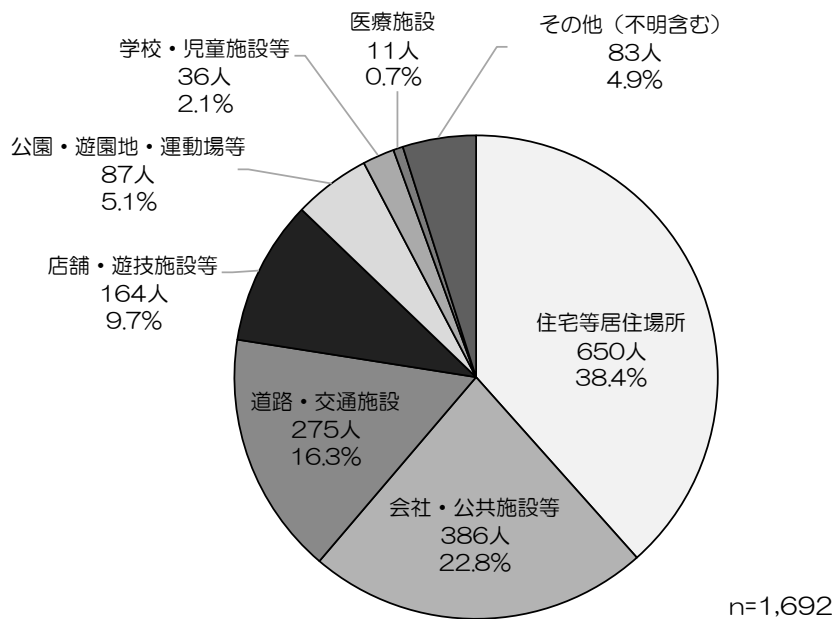


図2-26 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、3割以上が中等症以上と診断されています（図2-27）。

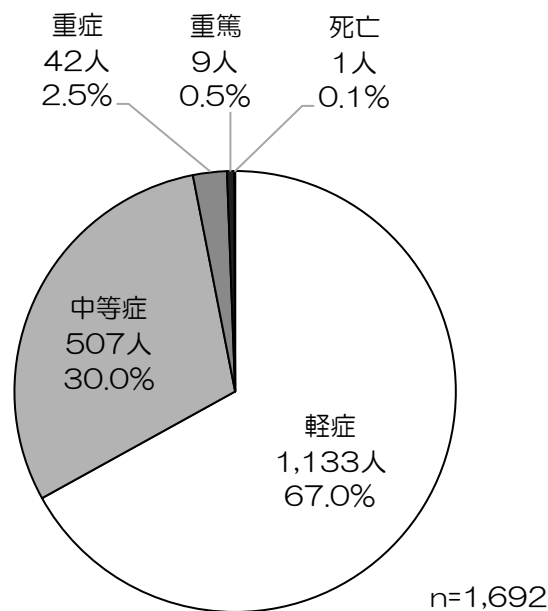


図2-27 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 はさまれる】

居室において、ドア枠に手を置いていたことに気づかず親が扉を閉めてしまい、手をはさまれた（5歳 中等症）。

7. やけど

(1) 年別搬送人員

熱湯や天ぷら油等によるやけどで、令和2年中に1,143人が救急搬送されます（図2-28）。

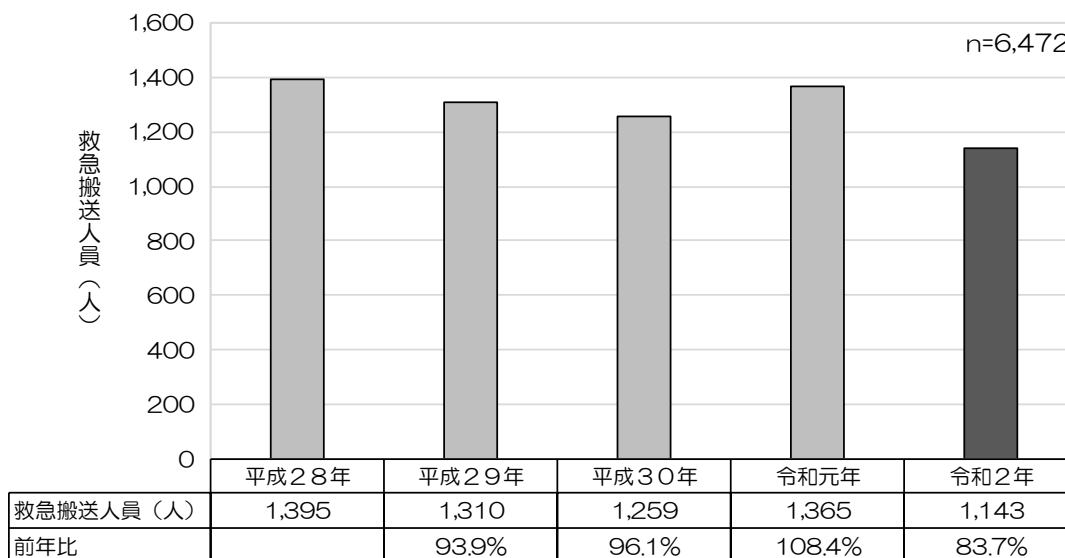


図2-28 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳までが最も多く、370人が救急搬送され、全体の3割以上を占めています（図2-29）。

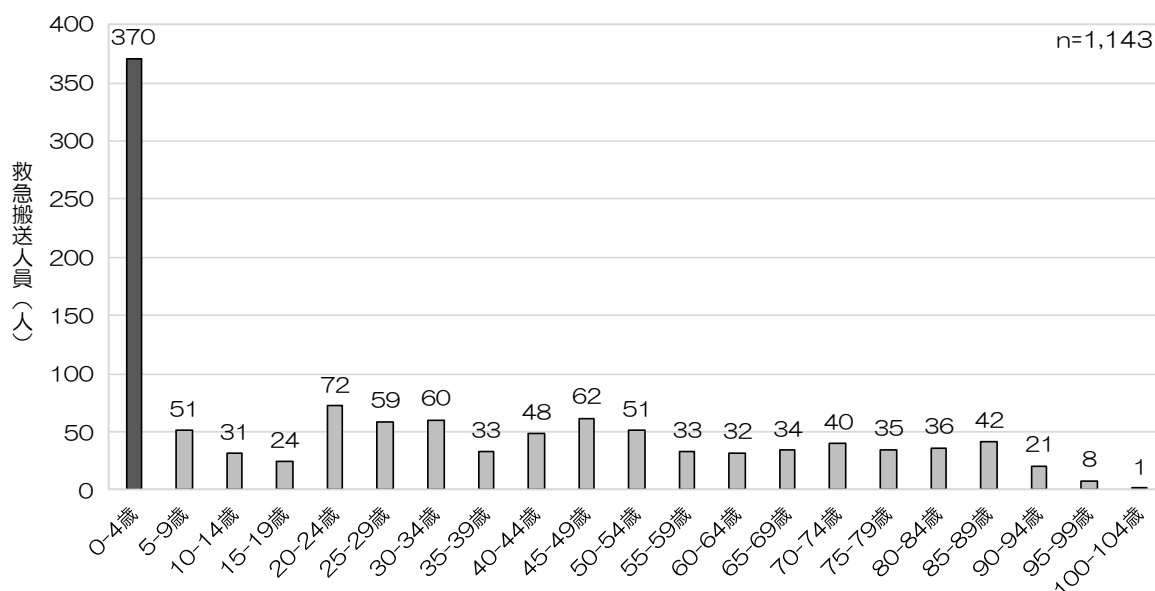


図2-29 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所の割合が最も多く、8割以上となっています（図2-30）。

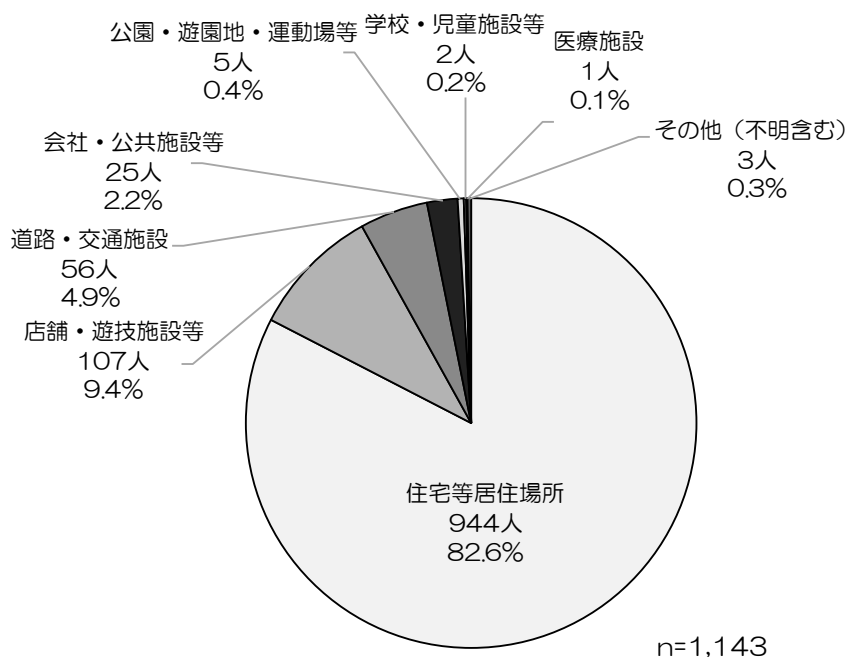


図2-30 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、2割以上が中等症以上と診断されています（図2-31）。

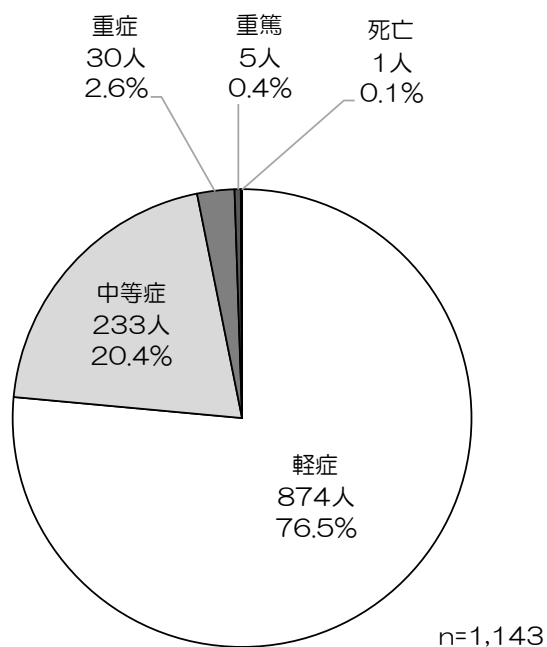


図2-31 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 やけど】

テーブル上に置いてあった熱いお茶の入ったカップに触り、カップがテーブルから落ちた際にお茶が体にかかってやけどした（5歳 重症）。

8. かまれる・刺される

(1) 年別搬送人員

犬にかまれる、蜂に刺される等で、令和2年中に589人が救急搬送されています（図2-32）。

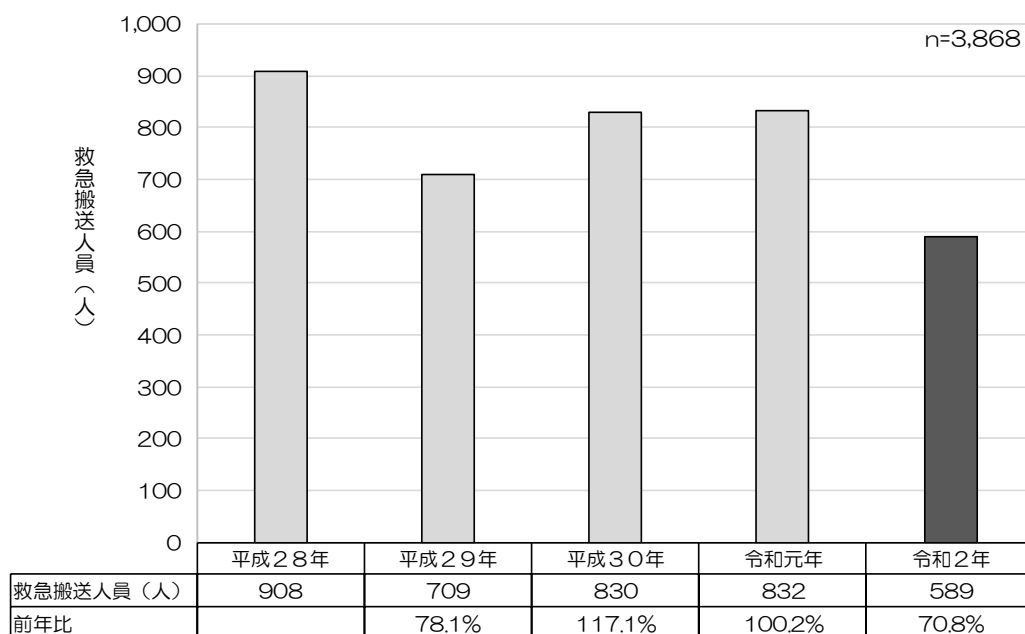


図2-32 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、45歳から49歳までと70歳から74歳までが50人以上と多くなっています（図2-33）。

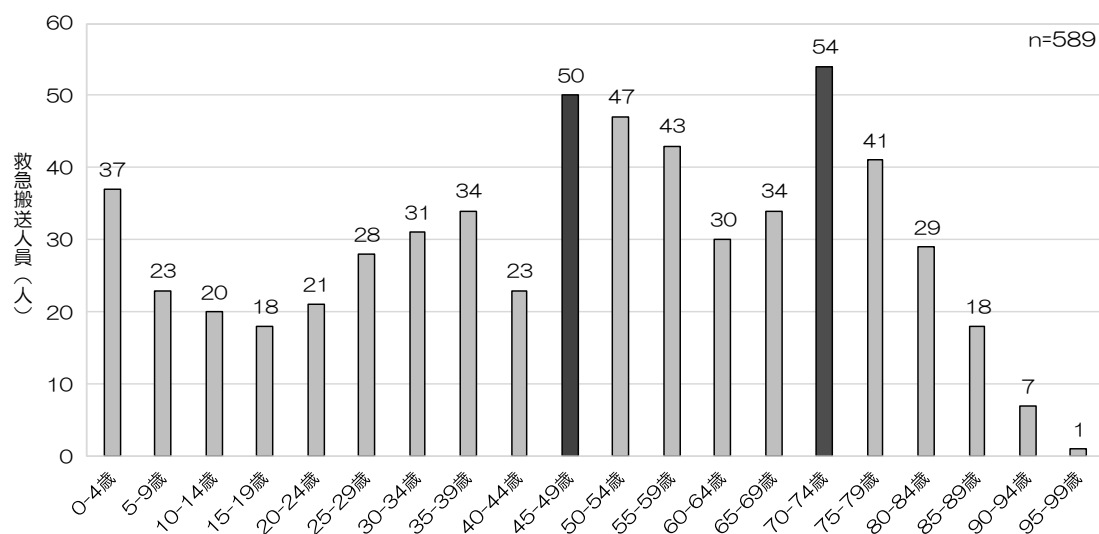


図2-33 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が多く、次いで道路・交通施設が多くなっています（図2-34）。

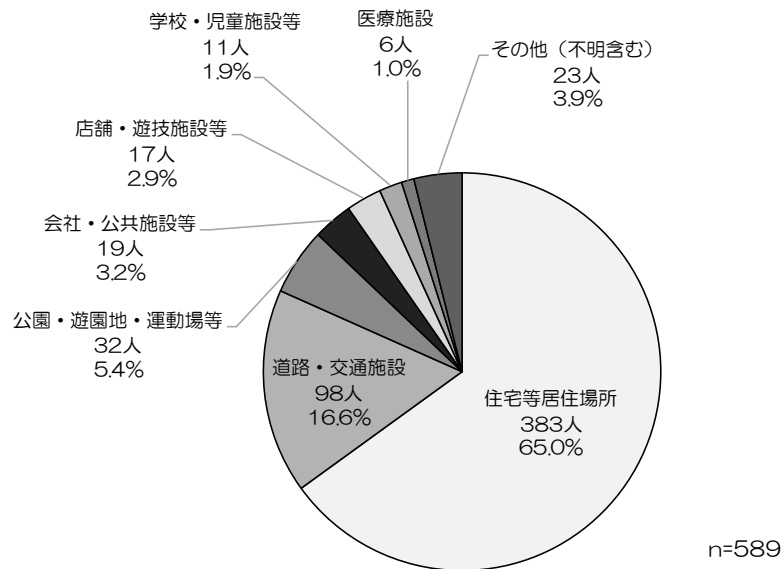


図2-34 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、軽症が約9割を占めていますが、中等症と診断される事故も発生しています（図2-35）。

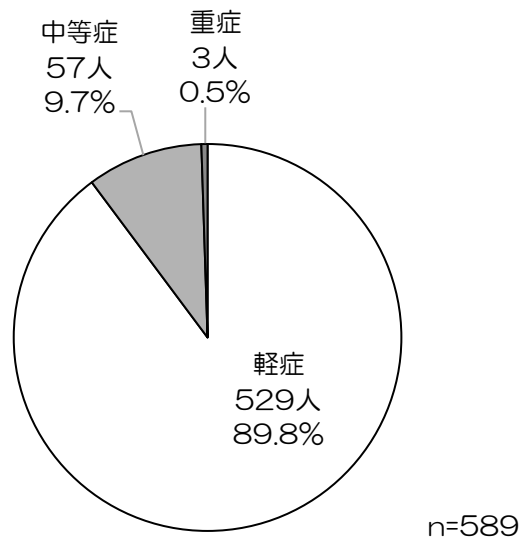


図2-35 初診時程度別の救急搬送人員

【事例 刺される】

害虫駆除作業中に、頭を蜂に刺された（70代 重症）。

9. おぼれる

(1) 年別搬送人員

浴槽や海、河川等での事故で、令和2年中は534人が救急搬送されています（図2-36）。

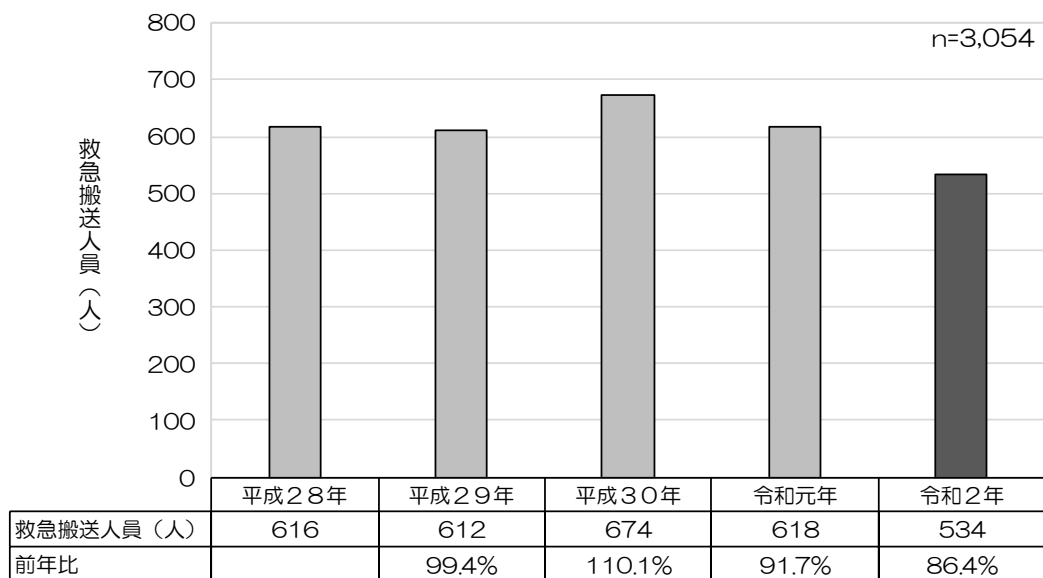


図2-36 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、乳幼児、高齢者に多く発生しています（図2-37）。

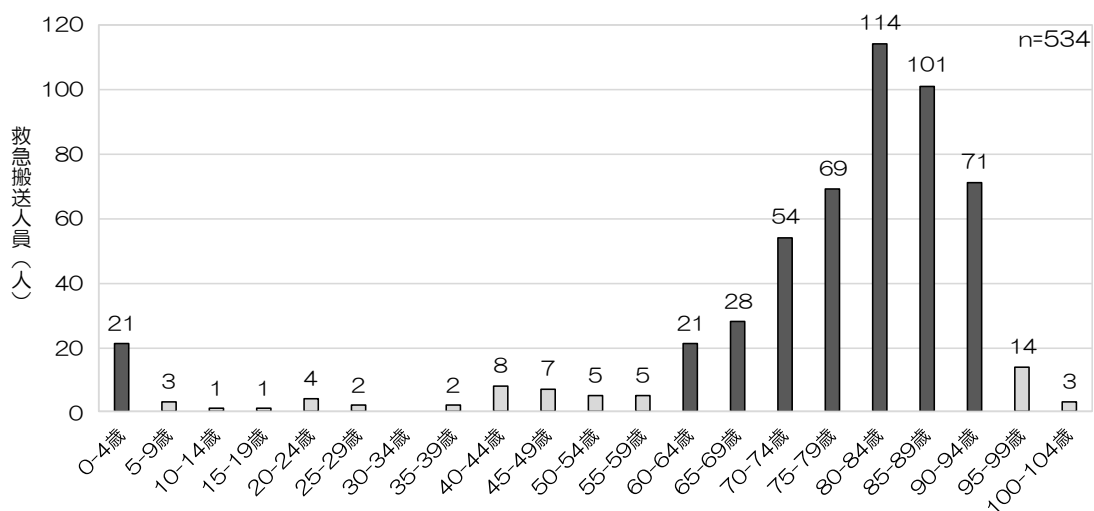


図2-37 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が8割以上で最も多くなっています(図2-38)。

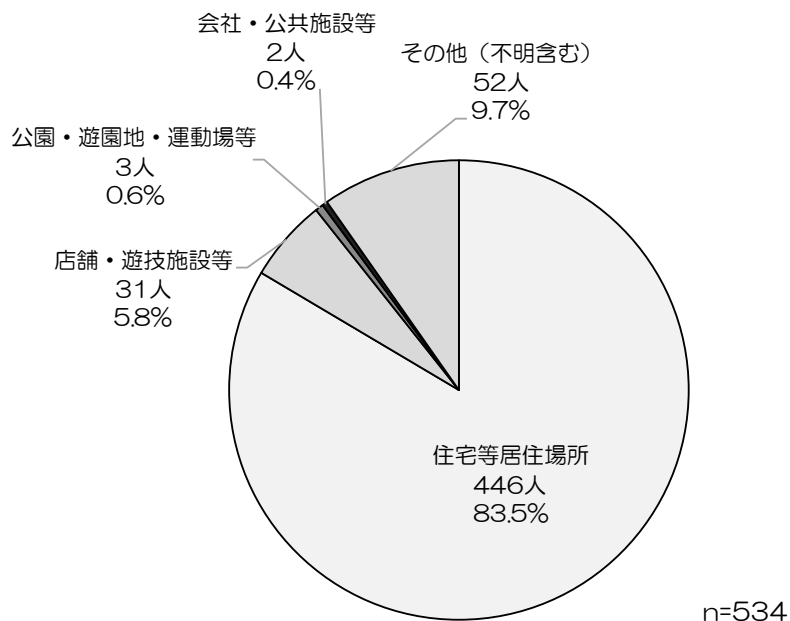


図2-38 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、9割以上が中等症以上と診断されており、さらに8割以上が重篤又は死亡と診断されています(図2-39)。

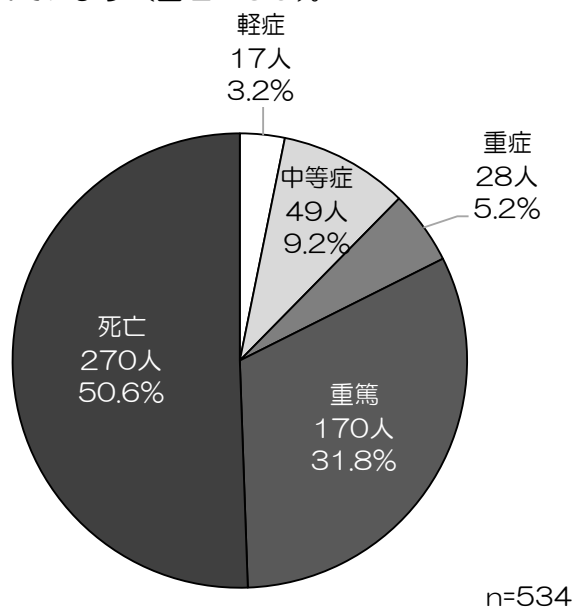


図2-39 初診時程度別の救急搬送人

【事例 おぼれる】

入浴中、家族の呼びかけに反応がないため様子を見に行くと、浴槽内で顔を水没させ意識がない状態だった(80代 死亡)。